



地域学校協働研修会【地域学校協働活動の部】

令和3年10月18日（月）、福島市松川学習センターにおいて、県北域内の学校関係者、各市町村行政担当者、市町村コーディネーター計30名参加のもと標記の研修会を実施しました。

この研修会は、地域学校協働活動についての講話や事例紹介、グループ協議等を通して、事業に携わる地域学校協働活動事業関係者、学校関係者等の資質向上を図ることを目的としています。

1 講話「地域と学校との連携・協働の推進へ向けて」

福島県教育庁県北教育事務所 社会教育主事 黒子 学



地域学校協働活動の充実のために、地域が学校を一方的に支援するのではなく、子どもの成長を支えるという同じ目的のために双方がパートナーとして互いに協力して共通の課題に取り組みます。その際に、地域が抱える課題、実情など特色を把握したうえで地域と学校との連携・協働について考えること、子どもたちも地域を創っていく一員として主体的に取り組む学習活動を進めることが大切です。

2 事例紹介「国見町地域学校協働本部の取組について」

国見町教育委員会 統括地域学校協働活動推進員 菅野 敏彦 氏

国見町は、家庭、学校、地域が一体となり「自ら学ぶ力を育む」「豊かな心を育む」「健康な体を育む」「郷土愛を育む」を柱に一貫した保幼小中の教育を行っています。町内には学習塾が少なく、自宅から遠く通うことができない児童や生徒が多くいます。このことから国見町では「放課後塾ハル」を設置し、その運営及び児童・生徒の学習支援を始めとする様々な活動を若いスタッフ達が熱意をもって行っています。



3 グループ協議「地域学校協働活動～地域も学校もWIN WINの関係に」



学校関係者、行政担当者、コーディネーターの方々に協議を行いました。それぞれの立場で抱えている課題や疑問点について情報交換を行い、地域と学校の連携・協働を深めるための方策について話し合いました。

参加者アンケートより

- 基本的な考え方や先進的な取組を知ることができてとても参考になりました。
- 事例紹介は地域学校協働活動の理念を分かりやすくしたのとしてとても参考になりました。郷土愛が一本の柱となっていることが素晴らしいと思いました。
- グループ協議は、短時間でしたが中身の濃い話をすることができました。各地区の問題点を共有できるよい機会になりました。

今後に向けて

今回参加していただいた皆様には、研修会で得た内容を参考に、参加者それぞれの地域の特性にあった地域学校協働活動の事業を展開してください。さらに、地域と学校との連携・協働について、広めていただきたいと思います。

これからも県北教育事務所は、地域学校協働活動事業の充実へ向けて地域と学校を支援していきます。

県北教育事務所ホームページに国見町の事例紹介の資料を載せておりますのでぜひご覧ください。

より詳しい研修会の様子について知りたい方は県北教育事務所総務社会教育課 黒子学まで

(電話 024-521-2814 E-mail アドレス kuroko_manabu_01@pref.fukushima.lg.jp)